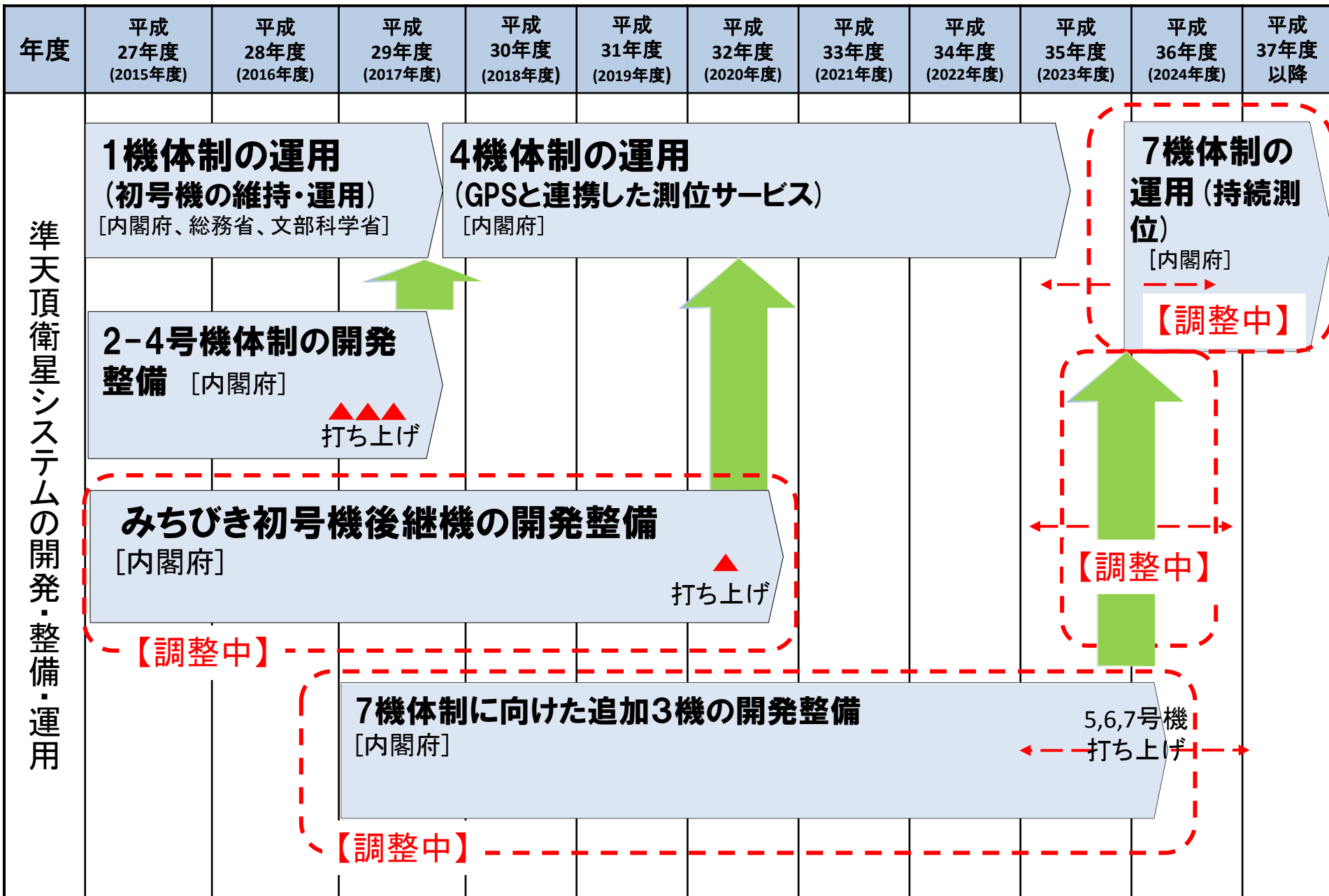


新「宇宙基本計画」 工程表（素案）

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度		
測位	準天頂衛星	みちびき(2010年度打ち上げ)																					
		準天頂衛星2号機 準天頂衛星3号機 準天頂衛星4号機 みちびき後継機 準天頂衛星5~7号機 準天頂衛星2号機後継機 準天頂衛星3号機後継機 準天頂衛星4号機後継機 ●継続的に開発・運用等																					
情報収集衛星	IGS(光学)	光学4号機(2011年度打ち上げ) 光学5号機(2014年度打ち上げ) 光学6号機 光学7号機(光学5号機の後継機) 光学8号機(光学6号機の後継機) 光学9号機(光学7号機の後継機) 光学10号機(光学8号機の後継機) 光学11号機(光学9号機の後継機) 光学12号機(光学10号機の後継機) 光学13号機(光学11号機の後継機) 光学実証機 ●継続的に開発・運用等																					
	IGS(レーダ)	レーダ3号機(2011年度打ち上げ) レーダ4号機(2012年度打ち上げ) レーダ予備機(2014年度打ち上げ) レーダ5号機 レーダ6号機 レーダ7号機(レーダ5号機の後継機) レーダ8号機(レーダ6号機の後継機) レーダ9号機(レーダ7号機の後継機) レーダ10号機(レーダ8号機の後継機) レーダ11号機(レーダ9号機の後継機) レーダ12号機(レーダ10号機の後継機) ●継続的に開発・運用等																					
	データ中継	データ中継衛星 ●継続的に開発・運用等																					
先進光学・レーダ衛星	光学	先進光学衛星 先進光学衛星後継機① 先進光学衛星後継機② ●継続的に開発・運用等																					
	レーダ	陸域観測技術衛星(だいち2号 2014年度打ち上げ) 先進レーダ衛星(だいち2号後継機) 先進レーダ衛星後継機① 先進レーダ衛星後継機② ●継続的に開発・運用等																					
気象観測	気象予報	ひまわり6号(待機運用) ひまわり7号(待機運用) ひまわり8号(2014年度打ち上げ) 以後、待機運用 ひまわり9号(待機運用) 以後、ひまわり8号に替えて観測運用(待機) 静止気象衛星後継機 製造・打ち上げ・待機運用 以後、ひまわり9号に替えて観測運用 ●継続的に製造・運用等																					
温室効果ガス観測	二酸化炭素・メタン等	温室効果ガス観測技術衛星2号機 温室効果ガス観測技術衛星3号機 ●継続的に開発・運用等																					
その他リモートセンシング・センサ技術高度化	水循環	水循環変動観測衛星(しずく 2012年度打ち上げ)																					
	雲・植生	気候変動観測衛星(GCOM-C)																					
	降水	全球降水観測計画/二周波降水レーダ(GPM/DPR 2013年度打ち上げ)																					
	雲・エアロゾル	雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(Earth CARE/CPR)																					
	超低高度衛星	超低高度衛星技術試験機(SLATS)																					
低コスト小型衛星	アスナロ1号(2014年度打ち上げ)	アスナロ2号																					
	センサ技術	ハイパースペクトルセンサ																					
通信・放送	技術試験衛星	技術試験衛星 9号機 技術試験衛星 10号機																					
	光データ中継	光データ中継衛星																					
	Xバンド防衛通信	Xバンド防衛通信衛星1号機 Xバンド防衛通信衛星2号機 Xバンド防衛通信衛星3号機																					
輸送システム	液体ロケット	H-IIA/Bロケット																					
	固体ロケット	イプシロンロケット																					
宇宙状況監視	SSA	SSA体制構築																					
早期警戒機能等	赤外線センサ	先進光学衛星への相乗りによるセンサの実証研究																					
科学・探査	小惑星探査	小惑星探査機(はやぶさ2 2014年度打ち上げ)																					
	水星探査	水星探査計画(Bepi Colombo)																					
	磁気圏観測	ジオスペース探査衛星(ERG)																					
	X線天文	X線天文衛星(ASTRO-H)																					
公衆型小型	戦略的中型	戦略的中型① 戦略的中型② ●継続的に開発・運用等																					
	公衆型小型	公衆型小型① 公衆型小型② 公衆型小型③ 公衆型小型④ ●継続的に開発・運用等																					
有人宇宙活動	ISS	宇宙ステーション補給機(こうのとり)5号機 宇宙ステーション補給機(こうのとり)6号機 宇宙ステーション補給機(こうのとり)7号機 ●平成28年度末までに得た、平成36年までのISS延長への参加の是非及びその参加形態の在り方についての結論に従い、取組を進める。																					
	LNG推進系	LNG推進系関連技術の研究開発(実証試験を含む)																					
研究開発	将来輸送系	再使用型宇宙輸送システムの研究開発																					
	宇宙太陽光発電	宇宙太陽光発電の研究開発																					

※本工程表及び個別の工程表に記載されている線表の期間や打ち上げ時期等は現時点におけるめど等であり、各種要因の影響を受ける可能性がある。

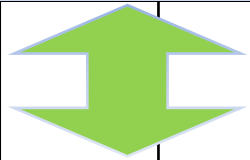
4. (2)① i) 衛星測位



4. (2)① i) 衛星測位

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
準天頂衛星システムの活用等の促進等	国内及びアジア太平洋を中心とした諸外国における準天頂衛星の利活用の促進 電子基準点網の構築支援、測位衛星の利用基盤の強化 [内閣府、国土交通省等]										
	準天頂衛星と地理情報システム (GIS) との連携によるG空間社会の実現 [内閣府、国土交通省等]										
	官民プラットフォームを通じた新ビジネス創出に向けた検討(平成26年度～) [内閣府]										
	(参考) 実証実験の検討 [内閣府、経済産業省等]				(参考) 実証実験 [内閣府等]		★ 東京オリンピック・パラリンピック				
	(参考) 宇宙に関連した新事業・新サービスを創出するための民間資金や各種支援策の活用等に関する検討 [内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等]				(参考) 必要な措置の実施 [内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等]						
	(参考) 測位衛星の信号に係る調査・検討 [内閣府、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省]		(参考) 必要な措置の実施 [内閣府、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省]								

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング


年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
利用ニーズの各プロジェクトへの反映	<p>衛星リモートセンシングの利用ニーズの把握 リモートセンシングの仕様、運用方法及びデータの活用可能性等についての検討・各プロジェクトに反映する仕組の構築 [内閣府等]</p>										
								検討結果等の反映			
	<p>(参考)先進光学衛星・先進レーダ衛星の開発・運用 [文部科学省]</p>										
	<p>(参考)静止気象衛星の整備・運用 [国土交通省]</p>										
	<p>(参考)温室効果ガス観測技術衛星の開発・運用 [文部科学省、環境省]</p>										
	<p>(参考)上記以外のリモートセンシング衛星の開発・センサ技術高度化の検討 [総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省]</p>										
	<p>(参考)衛星リモートセンシングを支える地上インフラの着実な整備、維持・更新 [総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省]</p>										
	<p>(参考)我が国が直面する各種課題解決に向けた諸外国との共同開発・共同利用の推進 [内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省等]</p>										
	<p>(参考)安全保障に係る衛星リモートセンシングデータの利活用等 [内閣官房、外務省、防衛省等]</p>										
	<p>(参考)民生分野に係る衛星リモートセンシングデータの利活用等 [内閣府、警察庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等]</p>										

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

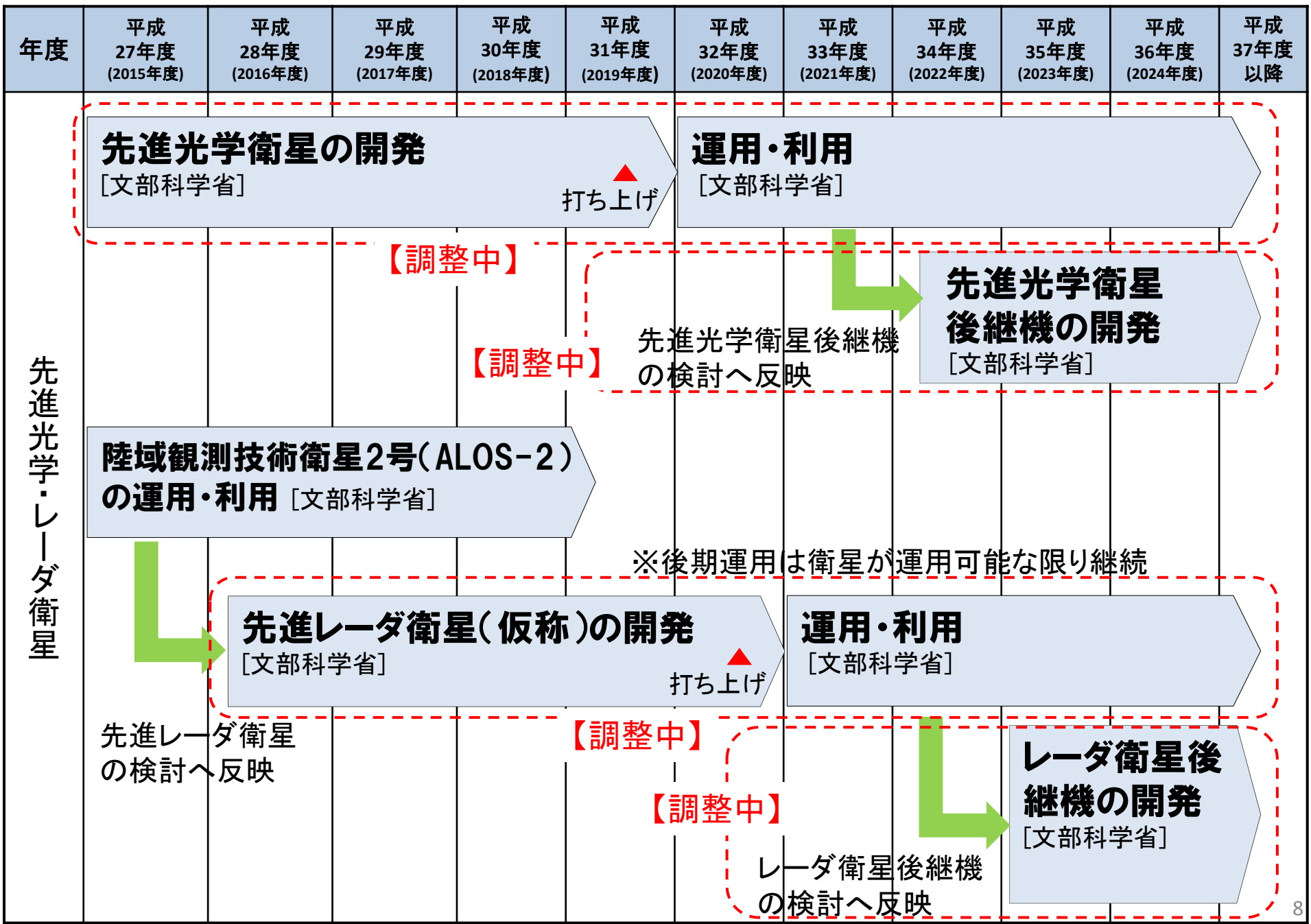
年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降	
情報収集衛星(1/2)等—光学衛星等—	光学4号機 運用											
	光学5号機 運用											
	光学6号機 開発	▲ 打ち上げ	運用									
	光学7号機 開発			▲ 打ち上げ	運用							
	光学8号機 開発						▲ 打ち上げ	運用				
				光学9号機 開発						▲ 打ち上げ	運用	
						光学10号機 開発						
	【調整中】								光学11号機 開発			
	光学実証機 開発							▲ 打ち上げ	実証運用			
	データ中継衛星 設計・製造				▲ 打ち上げ	運用						
	先端技術等の研究開発											
機数増を含む体制の継続的な強化												

※以上、全て内閣官房

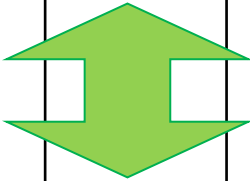
4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
即応型の小型衛星等	<p>即応型の小型衛星等の運用上のニーズや運用構想等に関する調査研究 即応型の小型衛星と情報収集衛星との連携可能性の検討 [内閣官房、内閣府、文部科学省、防衛省等]</p>										
	 <p>連携</p>										
	<p>(参考) 即応型の小型衛星等の打ち上げシステムの在り方等の検討 [内閣官房、内閣府、文部科学省、防衛省等]</p>										

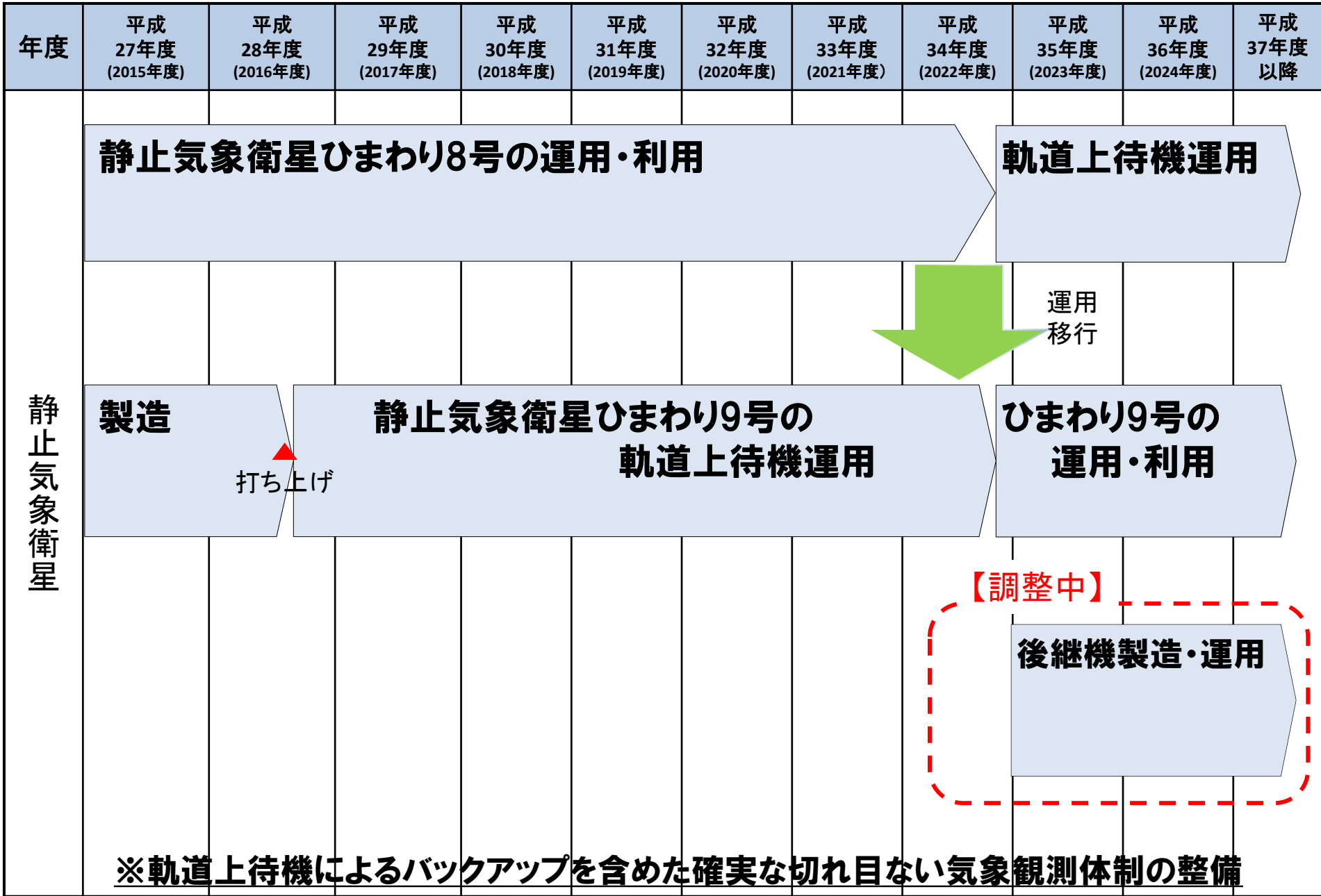
4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング



4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
地球観測衛星事業に必要な制度整備等の検討	<p>民間事業者が主体的に進める地球観測衛星事業のために必要となる制度整備等に関する検討 (リモートセンシング関連法の整備等とも連携) [内閣府]</p>										
											
	<p>リモートセンシングに関する法案の検討 [内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省]</p> <p>制度等の運用 (国会での法案成立を前提)</p> <p>▲ 国会提出</p>										

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング



※以上すべて国土交通省

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
温室効果ガス観測技術衛星	温室効果ガス観測技術衛星 [文部科学省、環境省]										
	2号機の開発			運用・利用							
	▲ 打ち上げ			▼ 温室効果ガス観測技術衛星 3号機の検討へ反映							
	【調整中】										
	3号機の開発							運用・利用 (平成37年度以降)			
	▲ 打ち上げ										
	※継続的な観測体制の整備の検討										

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
----	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------

その他リモートセンシング衛星開発・センサ技術高度化(1/2)

その他リモートセンシング衛星の開発、センサ技術の高度化等の検討
 [総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省]

水循環変動観測衛星(GCOM-W) [文部科学省]

運用

気候変動観測衛星(GCOM-C) [文部科学省]

開発
打ち上げ ▲

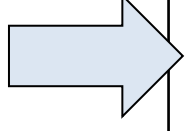
運用

全球降水観測計画/二周波降水レーダ(GPM/DPR) [総務省、文部科学省]

運用

雲プロファイリングレーダ(CPR) [総務省、文部科学省]

開発
ESA引渡し ▲



雲エアロゾル放射ミッション(EarthCARE) [ESAが打ち上げ担当のプロジェクト]
 ▲打ち上げ

超低高度衛星技術試験機(SLATS) [文部科学省]

開発
打ち上げ ▲

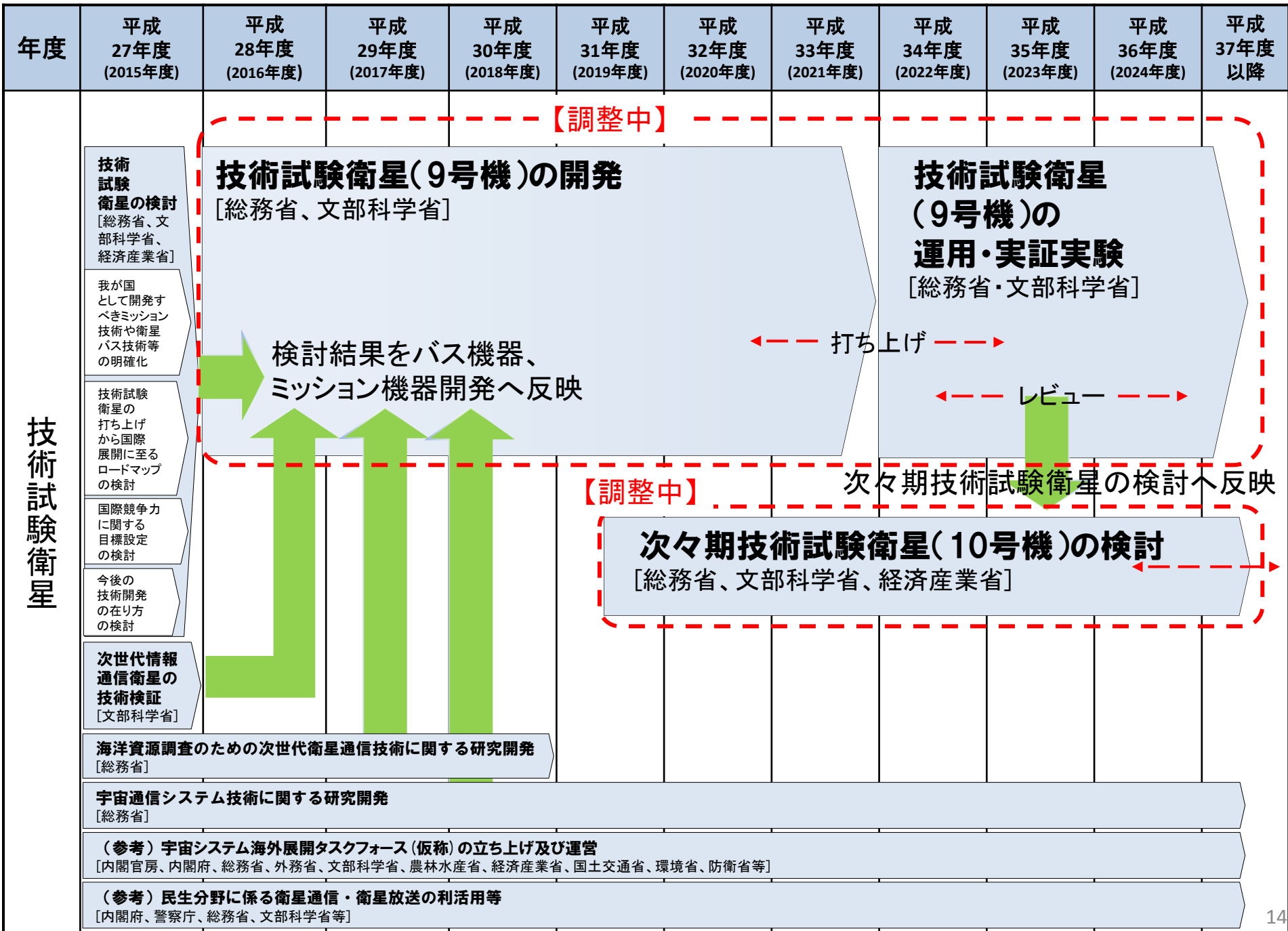
運用

※後期運用は衛星等が運用可能な限り継続

4. (2)① ii) 衛星リモートセンシング

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
その他リモートセンシング衛星開発・センサ技術高度化(2/2)	<p>その他リモートセンシング衛星の開発、センサ技術の高度化等の検討 [総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省]</p>										
	<p>アスナロ1号(ASNARO-1) 運用 [経済産業省]</p>										
	<p>アスナロ2号 (ASNARO-2) 運用 [経済産業省] 開発 打ち上げ [経済産業省]</p>										
	<p>ハイパースペクトルセンサ 開発 [経済産業省] 打ち上げ</p> <p>運用 [経済産業省]</p>										
<p>※後期運用は衛星が運用可能な限り継続</p>											





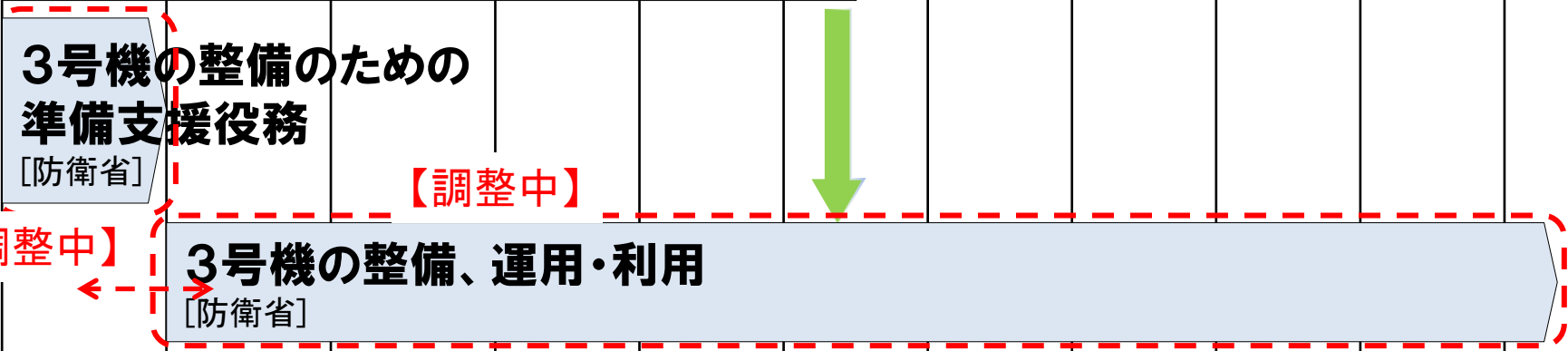


4. (2)① iii) 衛星通信・衛星放送



4. (2)① iii) 衛星通信・衛星放送

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
光データ中継衛星	【調整中】										
	光データ中継衛星の開発 [総務省、文部科学省]					光データ中継衛星の運用 地上衛星間光通信実証実験 [総務省、文部科学省]					
	打ち上げ										
	成果を反映										
宇宙通信システム技術に関する研究開発 [総務省]											

4. (2)① iii) 衛星通信・衛星放送

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年)	平成 31年度 (2019年)	平成 32年度 (2020年)	平成 33年度 (2021年)	平成 34年度 (2022年)	平成 35年度 (2023年)	平成 36年度 (2024年)	平成 37年度 以降
X バンド 防衛衛星 通信網	民間衛星の利用 (Superbird-B2)										
	  運用・利用 (1号機) 打ち上げ [防衛省]										
	民間衛星の利用 (Superbird-D)										
	  運用・利用 (2号機) 打ち上げ [防衛省]										
	民間衛星の利用 (Superbird-C2)										
	 3号機の整備のための 準備支援役務 [防衛省]										
	 【調整中】										
	【調整中】  3号機の整備、運用・利用 [防衛省]										

4. (2) ① iv) 宇宙輸送システム

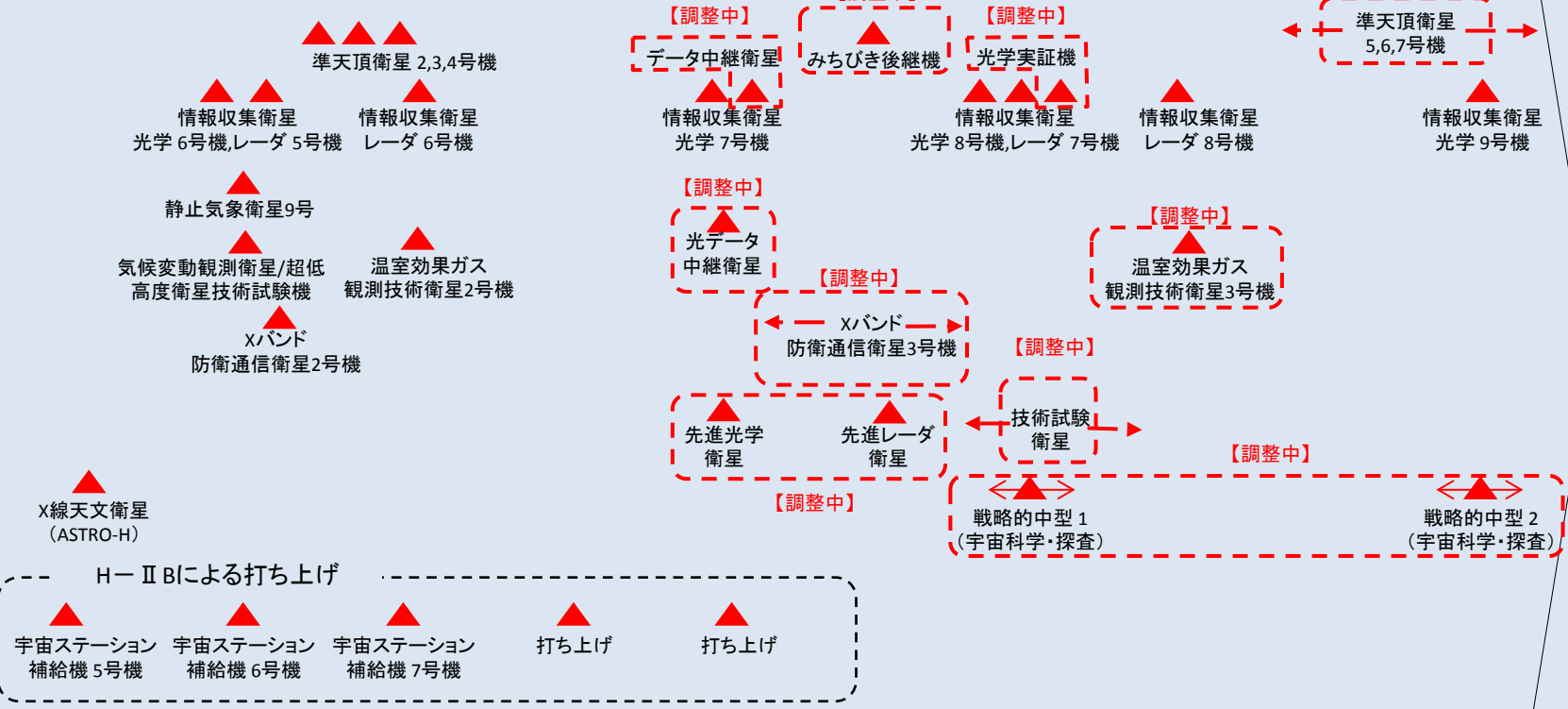
年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
----	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------

基幹ロケットの優先的使用

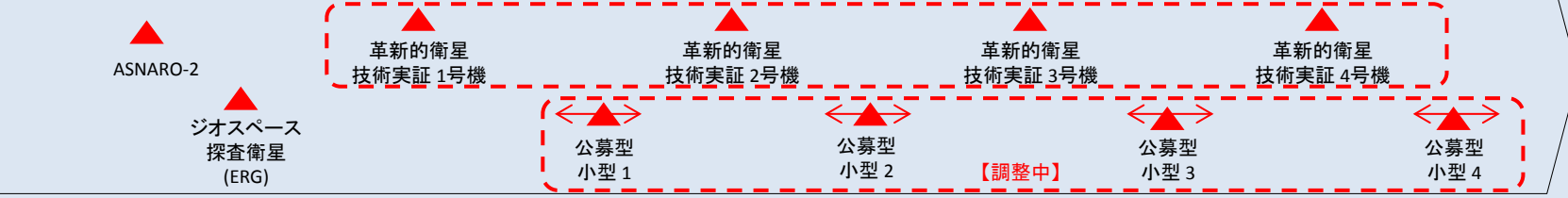
基幹ロケットの優先的使用

[内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等]

液体燃料ロケット(H-II A/Bロケット、新型基幹ロケット)



固体燃料ロケット(イプシロンロケット)



※:「▲」は各人工衛星の打ち上げ年度の現時点におけるめど等であり、各種要因の影響を受ける可能性がある。

4. (2)①iv) 宇宙輸送システム

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降	
新型基幹ロケット	新型基幹ロケットの開発 ▲ 試験機 (SSO) 打ち上げ ▲ 試験機 (GTO) 打ち上げ							新型基幹ロケットの実運用				
	ロケットの機体と種子島宇宙センター等の地上システムを一体とした総合システムとしての開発											
	H-IIA/Bロケットから新型基幹ロケットへの移行についての検討							新型基幹ロケットに順次移行				
	H-IIA/Bロケットの運用											
	H-IIA 高度化											
	H-IIA相乗り機会拡大 対応改修											
	基幹システムの維持、施設整備の老朽化更新等											
							SSO: 太陽同期軌道 (Sun-Synchronous Orbit) GTO: 静止トランスファ軌道 (Geostationary Transfer Orbit)					
	※以上、全て文部科学省											

※以上、全て文部科学省


4. (2)①iv) 宇宙輸送システム

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
イプシロンロケット	<p>イプシロンロケット [内閣官房、文部科学省、防衛省等]</p>										
	<p>基幹システムの維持、施設整備の老朽化更新等 [文部科学省]</p>										
	<p>イプシロン高度化 [文部科学省] → 高度化初号機 打ち上げ → 高度化されたイプシロンの運用 [文部科学省]</p>										
	<p>将来の固体ロケットの形態の在り方についての検討 [内閣官房、文部科学省、防衛省等] ※H-II A/Bが運用を終了する時期にイプシロンロケットを切れ目なく運用開始</p>										
			<p>新型基幹ロケットの固体ロケットとのシナジー効果を発揮できるように検討を進める</p>								
	<p>(参考) 新型基幹ロケットの開発 [文部科学省]</p> <p style="text-align: center;">▲ 試験機 (SSO) 打ち上げ ▲ 試験機 (GTO) 打ち上げ</p>										
	<p>SSO: 太陽同期軌道 (Sun-Synchronous Orbit) GTO: 静止トランスファ軌道 (Geostationary Transfer Orbit)</p>										


4. (2)①iv) 宇宙輸送システム

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
射場の在り方に関する検討	<p>射場の在り方に関する検討 [内閣官房、内閣府、文部科学省、防衛省等]</p>										

4. (2)①iv) 宇宙輸送システム

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
即応型の小型衛星等の打ち上げシステム	<p>即応型の小型衛星等の打ち上げシステムの在り方等の検討 [内閣官房、内閣府、文部科学省、防衛省等]</p>										
						連携					
	<p>(参考) 即応型の小型衛星等の運用上のニーズや運用構想等に関する調査研究 [内閣官房、内閣府、文部科学省、防衛省等]</p>										

4. (2)①v)宇宙状況把握

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙状況把握	宇宙状況把握の取組										
	<p>米国戦略軍等との連携強化の在り方に係る協議 (運用体制構築等に資する情報収集及び調整) [内閣府、外務省、文部科学省、防衛省等]</p>										
											
	<p>SSA関連施設及び防衛省やJAXAを始めとした 関係政府機関等が一体となった運用体制の構築 [内閣府、外務省、文部科学省、防衛省等]</p>										
<p>宇宙監視システムの能力具体化 に関する調査研究 [内閣府、文部科学省、防衛省]</p>											


4. (2)①vi) 海洋状況把握

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
海洋 状況 把握	<p>各種の人工衛星を試験的に活用する等による 海洋状況把握に係る総合的な検討等 [内閣官房、内閣府、外務省、国土交通省、防衛省等]</p>										
	<p>関連計画への反映 [内閣官房、内閣府、外務省、国土交通省、防衛省等]</p>										

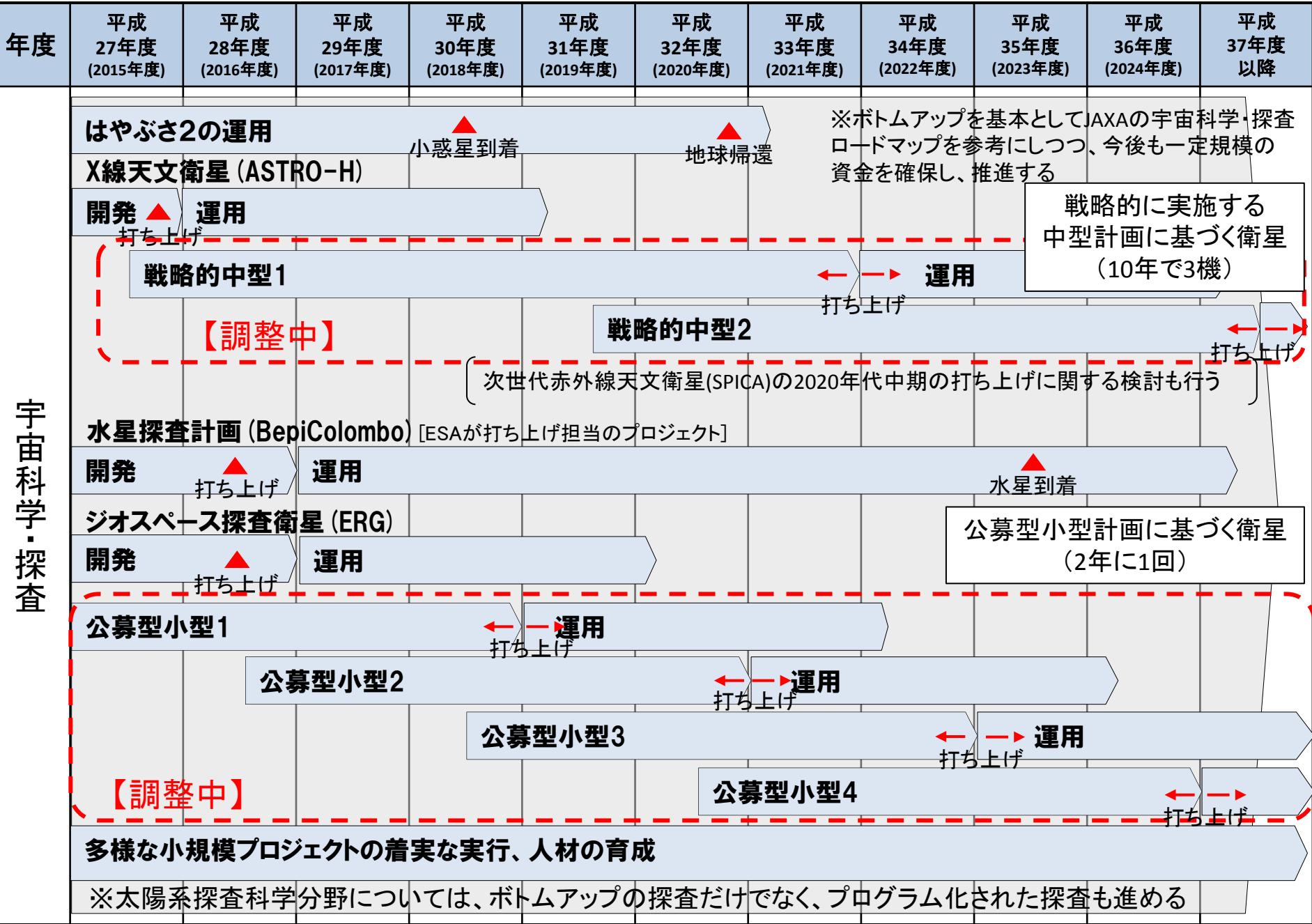
4. (2)①vii) 早期警戒機能等

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
早期警戒機能等	<p>早期警戒衛星等に関する要否も含めた検討 [内閣官房、内閣府、防衛省]</p>										
	<p>---【調整中】---</p>										
	<p>宇宙空間での2波長赤外線センサの実証研究 [防衛省]</p> <p style="text-align: center;">▲ 先進光学衛星に相乗り</p>										

4. (2)①viii)宇宙システム全体の抗たん性強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙システム全体の抗たん性強化	<p>宇宙システム全体の抗たん性を保持・強化するための方策に関する検討 [内閣官房、内閣府、防衛省等]</p> 										
	<p>検討成果を踏まえた必要な施策の実施 [内閣官房、内閣府、防衛省等]</p>										

4. (2)① ix) 宇宙科学・探査及び有人宇宙活動



※以上すべて文部科学省

4. (2)① ix) 宇宙科学・探査及び有人宇宙活動

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
国際宇宙ステーション計画を含む有人宇宙活動	<p>日本実験棟「きぼう」の運用・利用 [文部科学省]</p>						<p>平成28年度末までに得た、平成36年までのISS延長への参加の是非及びその参加形態の在り方についての結論に従い、取組を進める。 [文部科学省]</p>				
	<p>国際宇宙ステーション(ISS)の共通運用経費(～2020年)への対応 ・宇宙ステーション補給機「こうのとり」の運用 ・将来への波及性の高い技術 [文部科学省]</p> <p>▲ 打ち上げ ▲ 打ち上げ ▲ 打ち上げ ▲ 打ち上げ ▲ 打ち上げ (HTV5号機) (HTV6号機) (HTV7号機)</p> <p>※HTV: 宇宙ステーション補給機「こうのとり」</p>										

4. (2)① ix) 宇宙科学・探査及び有人宇宙活動

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
国際 有人 宇宙 探査	<p>国際有人宇宙探査の方策や参加の在り方に関する検討 [文部科学省]</p> <p>←★→ 第2回国際宇宙探査 フォーラム (ISEF)</p>										

4. (2)② i) 新規参入を促進し宇宙利用を拡大するための総合的取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
民間事業者の新規参入を後押しする制度的枠組み整備	<p>民間事業者の 新規参入を 後押しする 制度的な 枠組みの整備 [内閣府、文部科学省、経済産業省等]</p>										
	<p>(参考)宇宙活動法案の検討 [内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省] ▲ 国会提出</p> <p>(参考)リモートセンシング関連法案の検討 [内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省] ▲ 国会提出</p> <p>(参考)制度等の運用 (国会での法案成立を前提)</p>										

4. (2)② i) 新規参入を促進し宇宙利用を拡大するための総合的取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
新事業・新サービスを創出するための民間資金や各種支援策の活用等	<p>宇宙に関連した新事業・新サービスを創出(衛星リモートセンシング情報や衛星測位による位置情報等「ビッグデータ」により新たな価値を生み出す等)するための民間資金や各種支援策の活用等に関する検討 [内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等]</p>		<p>必要な措置の実施 [内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省等]</p>								

4. (2)② ii) 宇宙システムの基幹的部品等の安定供給に向けた環境整備

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
部品に関する技術戦略の策定等 [内閣府、文部科学省、経済産業省、防衛省等]	<p style="text-align: center;"> 技術戦略に基づく必要な措置の実施 関連計画への反映 [内閣府、文部科学省、経済産業省、防衛省等] </p>										
	Empty cells for the remaining years										

4. (2)② ii) 宇宙システムの基幹的部品等の安定供給に向けた環境整備

年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)	平成37年度 以降	
費用低減活動の支援及び軌道上実証機会の提供等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>低価格高性能な宇宙用機器や部品の開発・評価 (SERVISプロジェクト) [経済産業省]</p> </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H-IIA/Bロケットの相乗り機会の提供 [文部科学省]</p> </div>								<p>※新型基幹ロケットによる相乗り機会の提供へ移行する。</p>			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>国際宇宙ステーション(ISS)の利用機会の提供 [文部科学省]</p> </div>							<p>平成28年度末までに得た、平成36年までのISS延長への参加の是非及びその参加形態の在り方についての結論に従い、取組を進める。[文部科学省]</p>				
	【調整中】											
	<div style="border: 2px dashed red; padding: 10px;"> <p>革新的衛星技術実証プログラム [文部科学省]</p> <p style="text-align: center;">イプシロンロケットによる実証衛星打ち上げ</p> <p>Timeline details: - FY2016: 実証ミッションの選定 (Mission selection) - FY2017: 小型実証衛星の開発 (Small satellite development) with ▲ - FY2018: 実証ミッションの選定 (Mission selection) - FY2019: 小型実証衛星の開発 (Small satellite development) with ▲ - FY2020: 実証ミッションの選定 (Mission selection) - FY2021: 小型実証衛星の開発 (Small satellite development) with ▲ - FY2022: 実証ミッションの選定 (Mission selection) - FY2023: 小型実証衛星の開発 (Small satellite development) with ▲ - FY2024: 実証ミッションの選定 (Mission selection)</p> </div>											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>信頼性向上プログラム [文部科学省]</p> </div>												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(参考) 部品に関する技術戦略の策定 [内閣府、文部科学省、経済産業省、防衛省等]</p> </div>		<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">反映</p>										

4. (2)② iii) 将来の宇宙利用の拡大を見据えた取組

年度	平成 27年度 (2015年)	平成 28年度 (2016年)	平成 29年度 (2017年)	平成 30年度 (2018年)	平成 31年度 (2019年)	平成 32年度 (2020年)	平成 33年度 (2021年)	平成 34年度 (2022年)	平成 35年度 (2023年)	平成 36年度 (2024年)	平成 37年度 以降
東京オリンピック・パラリンピックの機会を活用した 先導的社会実証実験	実証実験の検討 [内閣府、経済産業省等]				実証実験 [内閣府等]	★ 東京オリンピック・パラリンピック	成果を社会実装 [関係府省]				

4. (2)② iii) 将来の宇宙利用の拡大を見据えた取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
L N G 推 進 系 関 連 技 術	<p>LNG推進系関連技術の研究開発(実証試験を含む) [文部科学省]</p>										
								LNG: 液化天然ガス (Liquefied Natural Gas)			

4. (2)② iii) 将来の宇宙利用の拡大を見据えた取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
再 使 用 型 宇 宙 輸 送 シ ス テ ム	<p>再使用型宇宙輸送システムの研究開発 [文部科学省]</p>										
	<p>(参考)平成26年4月3日宇宙政策委員会「宇宙輸送システム長期ビジョン」</p>										

4. (2)② iii) 将来の宇宙利用の拡大を見据えた取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組等	宇宙の潜在力を活用して地上の生活を豊かにし、活力ある未来の創造につながる取組 [文部科学省、経済産業省、環境省等]										
	宇宙太陽光発電技術の研究開発 [文部科学省、経済産業省]										
	アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進 等 [環境省]										
	太陽活動等に起因する宇宙環境変動が我が国の人工衛星等に及ぼす影響とそれへの対処方策等に関する調査研究 [総務省、文部科学省等]										

4. (2)③ i) 宇宙政策の推進体制の総合的強化策

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙基本計画に基づく施策の政府一体となった推進	<p>宇宙基本計画に基づく施策について宇宙開発戦略本部の下での推進 [内閣府] ・関係府省は宇宙基本計画の実施のために必要な予算・人員を確保し、民間活動を促進 ・基本計画実施のために必要な場合には行政組織等の在り方の見直し</p>										

4. (2)③ i) 宇宙政策の推進体制の総合的強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
JAXAと防衛省との連携強化	<p>JAXAと防衛省との連携強化 [文部科学省、防衛省]</p>										

4. (2)③ ii) 調査分析・戦略立案機能の強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2015年度)	平成 30年度 (2015年度)	平成 31年度 (2015年度)	平成 32年度 (2015年度)	平成 33年度 (2015年度)	平成 34年度 (2015年度)	平成 35年度 (2015年度)	平成 36年度 (2015年度)	平成 37年度 以降
調査分析・戦略立案機能の強化											
	<p>関係機関に蓄積された経験・知見を集約し、政府全体で共有する仕組みについて検討 [内閣府・外務省]</p>	<p>必要な施策の実施 [内閣府・外務省]</p>									

4. (2)③ iii)国内の人的基盤の総合的強化、国民的な理解の増進

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降		
国内の人的基盤の強化	人的基盤強化の検討 [文部科学省、経済産業省]		必要な措置の実施 [文部科学省、経済産業省]										
												技術・政策等に関する宇宙専門人材の育成・確保方策	
												海外人材の受入れ・国内人材の海外派遣による人的交流・ネットワーク強化方策	
												キャリアパスのあり方	
	〔早期に結論〕												
	大学等における宇宙理学・工学等の研究の充実 [文部科学省]												
	研究開発プロジェクトでの組織を越えた人材交流の促進 [文部科学省]												

4. (2)③ iii)国内の人的基盤の総合的強化、国民的な理解の増進

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
国民的な理解の増進	<p>国民的関心を高め、次世代を担う人材のすそ野拡大のための取組 [文部科学省]</p> <p>〔 日本人宇宙飛行士の活躍の価値を活かした各種の取組の推進 等 〕</p>										

4. (2)③ iv) 法制度整備等

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙活動法	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div data-bbox="144 264 454 656" style="width: 20%; padding: 10px;"> <p>宇宙活動法案 の検討 [内閣府、外務省、 文部科学省、 経済産業省]</p> <p style="text-align: center;">▲ 国会 提出</p> </div> <div data-bbox="540 264 985 364" style="width: 80%; padding: 10px;"> <p>制度等の運用 (国会での法案成立を前提)</p> </div> </div>										

4. (2)③ iv) 法制度整備等

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
リモートセンシングに関する法制度	<div data-bbox="144 257 1806 664" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>リモートセンシング 制度等の運用 に関する法案の 検討 (国会での法案成立を前提)</p> <p>[内閣府、外務省、 文部科学省、 経済産業省]</p> <p style="text-align: center;">▲ 国会 提出</p> </div>										

4. (2)③ iv) 法制度等整備

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
測位衛星の信号への妨害対応策	測位衛星の信号に係る調査・検討 [内閣府、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省]	必要な措置の実施 [内閣府、総務省、外務省、経済産業省、国土交通省]									

4. (2)③iv) 調達制度の在り方の検討

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">調達制度の在り方の検討</p>	<p>衛星製造等の費用低減に合理的に取り組めるような調達制度の在り方についての検討 [内閣府等]</p>		<p>必要な措置の実施 [内閣府等]</p>								
	This area is currently empty in the image										

4. (2)④ i) 宇宙空間における法の支配の実現・強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙空間における法の支配の実現・強化	<p>宇宙活動に関する国際行動規範(ICOC)作成に向けた取組の推進 各種協議への積極的参加、アウトリーチ等[外務省]</p>										
	<p>国際連合宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)を始めとした国際会議等への積極的参加を通じたルール作りへの関与[内閣府、外務省、文部科学省等]</p> <ul style="list-style-type: none"> - 関連委員会への出席、国連宇宙部との連携 - 宇宙関連のシンポジウムやセミナー等への専門家派遣 										
	<p>二国間・多国間の対話・協議の機会を活用したルール作りの積極的推進 [外務省、文部科学省]</p> <ul style="list-style-type: none"> - ARF等の地域協力の枠組み、二国間・多国間の政策対話の活用 - 我が国による招へいを含む海外からの関係者来日の機会を活用 										

4. (2)④ ii) 国際宇宙協力の強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
----	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------

諸外国との重層的な協力関係の構築

日米間における安保・民生の両分野における宇宙協力
 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、環境省、防衛省等]

日米、日EU等の政府間協議の定期的な実施
 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、環境省、防衛省等]

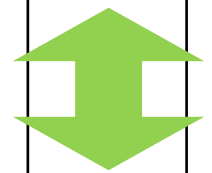
諸外国との政府間、政府機関間協議・対話の実施及び推進
 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、防衛省等]

**国際宇宙探査フォーラム
の準備協議、本会合主催**
 [内閣府、外務省、文部科学省]

国際的な宇宙探査の連携強化
 [内閣府、外務省、文部科学省]

次期計画策定 全球地球観測システム(GEOSS)次期10カ年計画の推進
 [内閣府、文部科学省、環境省等]

二国間協力・多国間協力に関する多様な支援策の効率的・効果的な活用を検討及び協力の推進
 [内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等]



(参考) 宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)の立ち上げ及び運営
 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等]

4. (2)④ ii) 国際宇宙協力の強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
----	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------

各種課題解決に向けた衛星等の共同開発・相乗り等

我が国が直面する各種課題解決に向けた諸外国との共同開発・共同利用の推進

共同開発・共同利用の検討
[内閣府、文部科学省、経済産業省等]

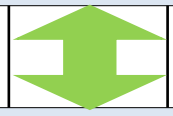
中東地域から我が国の近海に至るシーレーンに位置する国やアジア太平洋諸国を始めとした諸外国との間で、エネルギー、気候変動対策、災害等の各種課題を解決に資する人工衛星の共同開発(相乗り含む)及び人工衛星データの共同利用の推進

地球観測データの国際標準化・共同利用に向けた施策の検討・推進

[内閣府・外務省・文部科学省・経済産業省・環境省等]

防災協働対話・日本防災プラットフォーム等を通じた宇宙利用による防災の推進

[内閣府・国土交通省等]



(参考)


宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)の立ち上げ及び運営

[内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等]

宇宙活動法・リモートセンシング関連法案の検討及び運用

[内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省]

4. (2)④ ii) 国際宇宙協力の強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
産官学の参加による国際協力の推進	<p>産学官の多様な主体による諸外国との科学技術協力・人材育成協力等の戦略的推進 [内閣府、外務省、文部科学省等]</p>										
	<p>超小型衛星の基盤技術研究開発や人材育成活動に係る国際協力・諸外国との連携推進 [内閣府、文部科学省等]</p>										
	<p>国際的な宇宙利用推進、人材育成、科学技術協力等に関する取組への専門家・有識者派遣 [内閣府、文部科学省等]</p>										
											
	<p>(参考) 宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)の立ち上げ及び運営 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等] 宇宙活動法・リモートセンシング関連法案の検討及び運用 [内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省]</p>										

4. (2)④ ii) 国際宇宙協力の強化

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
----	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------

アジア太平洋地域における宇宙協力の推進

アジア太平洋地域協力

**アジア・太平洋地域宇宙機関会議の機能強化
政治レベル会合・政府間協力の検討、テーマ別ワーキンググループの推進等**
[外務省・文科省等]

準天頂衛星アジア太平洋ラウンドテーブルの実施
[内閣府・総務省・文部科学省・経済産業省、国土交通省・農林水産省等]

アジア太平洋地域における電子基準点網の構築支援 [内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省等]

日ASEAN協力の推進

[内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、防衛省等]

ASEANにおける宇宙分野及び防災分野における既存の取組を踏まえた宇宙協力の推進
[内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省等]


**宇宙技術を活用したASEAN地域防災能力の強化に向けた工程表の策定支援及び
フォローアップ、協力の推進。** [内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省等]



(参考)

宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)の立ち上げ及び運営
[内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等]
宇宙活動法・リモートセンシング関連法案の検討及び運用
[内閣府、外務省、文部科学省、経済産業省]

4. (2)④ iii)「宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)」の立ち上げ

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)	<p>宇宙システム海外展開タスクフォース(仮称)の立ち上げ及び運営 [内閣官房、内閣府、総務省、外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省等] ◎官民一体となって商業宇宙市場の開拓に取り組むため、平成27年度前半にタスクフォースを立ち上げ、具体的な進め方について検討(国別の対応方針等)。 ◎経協インフラ戦略会議との連携</p>										
	<p style="text-align: center;"></p> <p>(参考)必要な施策の実施 [内閣府、外務省]</p>										
	<p>(参考)関係機関に蓄積された経験・知見を集約し、政府全体で共有する仕組みについて検討 [内閣府、外務省]</p>										

(その他)宇宙政策の目標達成に向けたその他の取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙安全保障の確保に向けたその他の取組	<p>安全保障に係る衛星リモートセンシングデータの利活用等 [内閣官房、外務省、防衛省等]</p>										

(その他)宇宙政策の目標達成に向けたその他の取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
民生分野における宇宙利用の推進に向けたその他の取組	民生分野に係る衛星リモートセンシングデータの利活用等 [内閣府・警察庁・文部科学省・農林水産省・経済産業省、国土交通省等]										
民生分野における宇宙利用の推進に向けたその他の取組	民生分野に係る衛星通信・衛星放送の利活用等 [内閣府・警察庁・総務省・文部科学省等]										

(その他)宇宙政策の目標達成に向けたその他の取組

年度	平成 27年度 (2015年度)	平成 28年度 (2016年度)	平成 29年度 (2017年度)	平成 30年度 (2018年度)	平成 31年度 (2019年度)	平成 32年度 (2020年度)	平成 33年度 (2021年度)	平成 34年度 (2022年度)	平成 35年度 (2023年度)	平成 36年度 (2024年度)	平成 37年度 以降
宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化に向けたその他の取組	宇宙産業・科学技術基盤の維持・強化に向けた取組 [文部科学省、経済産業省]										